

# 神津島・新島周辺の地震活動\*

防災科学技術研究所

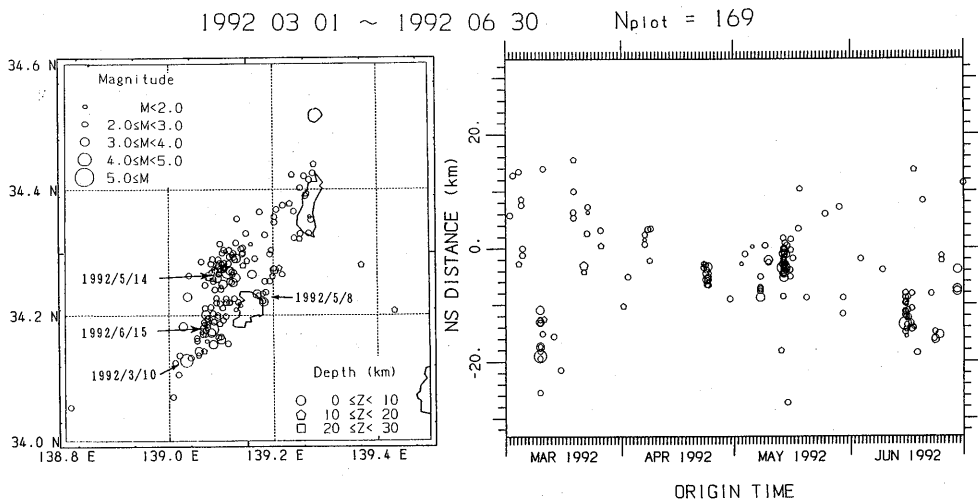
1991年初めより活発化した神津島・新島周辺では、1年以上にわたり地震活動が継続している。1992年3月から6月の震央分布と時空間分布を第1図に示す。この期間の主な活動の最大地震とそのマグニチュード(防災科研による)を下記に示す。

1992年	3月10日	03時15分	M 4.8
	5月8日	03時50分	M 3.9
	5月14日	07時31分	M 4.5
	6月15日	10時46分	M 4.7

活動は神津島の北西側で活発である(第1図)。上記の4個の地震の発震機構を第2図に示す。圧縮軸は南北方向、張力軸は東西方向にあり、これまでこの周辺で発生している地震の発震機構と同様のものである。

1991年1月から1992年6月までの震央分布を第3図に、また時空間分布を第4図に示す。地震活動は、神津島・新島の走行と平行にNNE-SW方向に伸びた帯状の領域で活発である。1991年4月から10月にかけて、南部から北部への活動の移動現象が見られたが、最近では神津島周辺部で活発である。

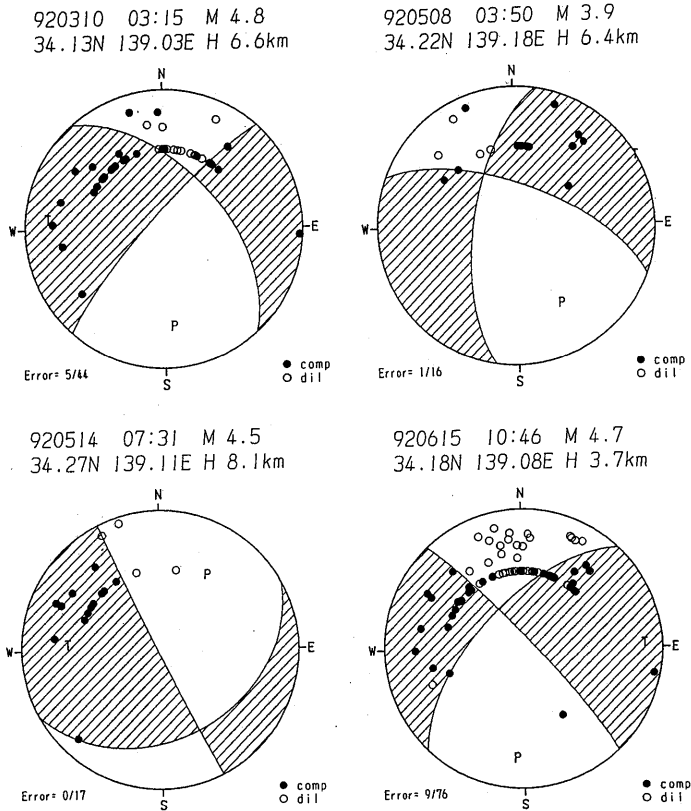
( 鶴川 元雄 )



第1図 1992年3月から6月の震央分布(左)と時空間分布(右)

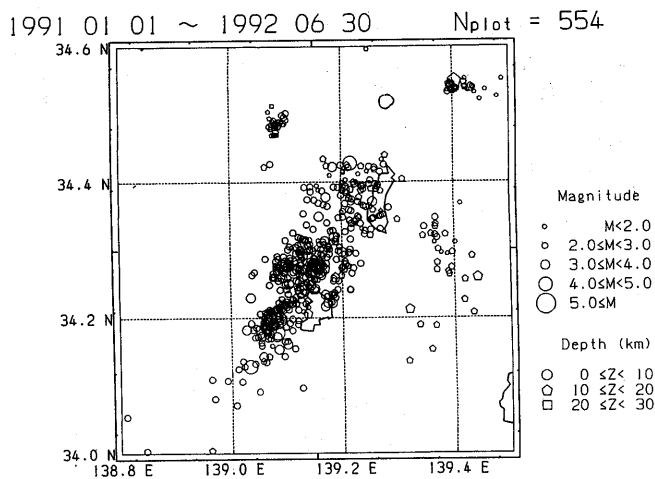
Fig.1 Hypocenter distribution and space-time plot (1992 / 3 / 1 ~ 1992 / 6 / 30).

\* Received 15 July, 1992



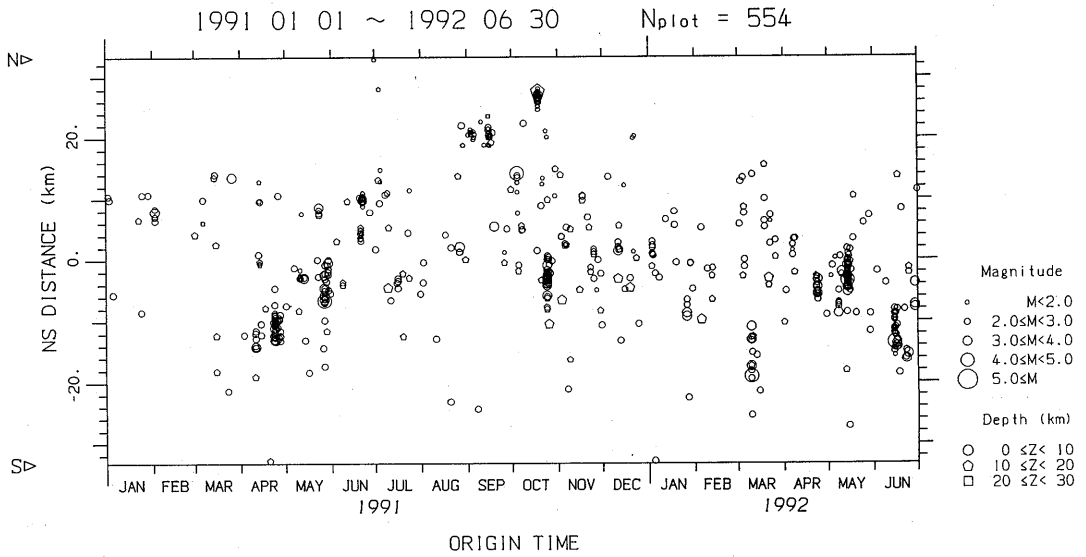
第 2 図 主な活動の最大地震の発震機構解

Fig.2 Focal mechanism solutions for the largest earthquakes of the four major activities.



第 3 図 1991年1月から1992年6月の震央分布

Fig.3 Hypocenter distribution (1991 / 1 / 1 ~ 1992 / 6 / 30).



第 4 図 1991年1月から1992年6月の時空間分布  
 Fig.4 Space-time plot for the region in Fig.3